

「青少年のための科学の祭典」石巻大会報告書

- ①主催 「青少年のための科学の祭典2011」石巻大会実行委員会、石巻専修大学開放センター、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館
- ②後援 文部科学省／宮城県／宮城県教育委員会／全国科学館連携協議会／全国科学博物館協議会／日本物理教育学会／日本理科教育協会／日本生物教育学会／日本地学教育学会／日本基礎化学教育学会／日本科学教育学会／日本理科教育学会／一般社団法人日本地質学会／日本生物物理学会／(社)日本物理学会／(社)応用物理学会／公益社団法人日本化学会／一般社団法人日本機械学会／(社)日本アイソトープ協会／(社)日本理科教育振興協会／(財)日本私学教育研究所／(社)日本動物学会／(社)日本植物学会／(社)日本天文学会／(社)日本工学会／(社)電気学会／(社)日本音響学会／(社)電子情報通信学会／(社)みやぎ工業会／NHK 仙台放送局／ミヤギテレビ／KHB 東日本放送／仙台放送／TBC 東北放送／河北新報社／朝日新聞社仙台総局／毎日新聞社仙台支局／読売新聞社東北総局／三陸河北新報社／石巻日日新聞社／ラジオ石巻
- ③協賛 なし
- ④会場 サン・ファン館 展望棟（宮城県慶長使節船ミュージアム）宮城県石巻市渡波字大森30-2
- ⑤開催日時 平成23年8月20日（土）～8月21日（日）の2日間 9:30～16:30開催（21日は16:00まで）
- ⑥来場者数 8月20日 500人
8月21日 300人
- ⑦出展数 16出展
- ⑧出展タイトル一覧
- A-1 あそんでためそう！七つの体験 感覚広場
 - A-2 宇宙をテーマにした体験型ワークショップ
 - A-3 手作りうちわと紙芝居
 - B-1 絶滅危惧種：猛禽類 ハヤブサについて
 - B-2 小惑星探査機「はやぶさ」に関する展示など
身の回りの暮らしや漁業などに役立つ人工衛星に関する展示など
 - B-3 JR新幹線「はやぶさ」にかんする展示
 - B-4 大津波に向かって出港し生還した漁船「はやぶさ号」
 - CF-1 東日本大震災の津波被害の記録
 - CF-2 大震災後のボランティア活動の記録
 - CF-3 日常防災のすすめ
 - E-1 大航海時代の科学・航海術
 - E-2 サン・ファン・パウティスタの作り方
 - E-3 慶長使節展示室公開
 - H-1 通信技術を応用した（ボランティア）活動
 - H-2 携帯型心電計を応用した活動
 - H-3 フードバンクの説明など

- ⑨製作物
- ・実験解説集：A 4 版／表紙カラー・中カラー／4 ページ／3, 0 0 0 冊
 - ・ポスター：B 2 版／カラー／3 0 0 枚
 - ・チラシ：A 4 版／表紙カラー、裏 1 色／製作部数：3 5, 0 0 0 枚

⑩広報活動

製作物（チラシ・ポスター）は、石巻市を含む近隣の 3 市 4 町の小中学校へ、教育委員会を通じて配布した。小学校には児童全員分、中学校は学級数分チラシを配布。また、石巻市とその近隣市町の高校にも 1 0 部ずつチラシを配布。それ以外は、石巻市役所、石巻市図書館、石巻信用金庫本支店にチラシ・ポスターを配置した。

石巻日日新聞（8 月 1 8 日朝刊）

石巻かほく（8 月 2 4 日朝刊）

⑪その他

石巻大会は、このたびの東日本大震災により 1 0 年間続いてきた科学の祭典も開催が危ぶまれる状況にありました。しかし、このような時だからこそ、この祭典を通して復興に向かって立ち上がる夢と勇気を届けたいという方々の熱意のもと、開催することができました。

「復興は“はやぶさ”のように！」をキーワードとした展示や講演に、宇宙航空研究開発機構、鉄道博物館や岩手中・高等学校などのご支援をいただきました。さらに、防災やボランティア活動の展示や講演を東北大学や専修大学、浦和学院高校、石巻社会福祉協議会などの協力により行いました。

講演会Ⅰ部（8 月 2 0 日） 復興は「はやぶさ」のように！

講師 宮城県七ヶ浜町 鈴木 武志

講師 宇宙航空研究開発機構教授 はやぶさプロジェクトマネージャ
川口 淳一郎

講演会Ⅱ部（8 月 2 1 日） 震災後のボランティア活動と今後の防災活動

講師 富士常葉大学教授 重川 希志依

講師 石巻専修大学教授 鈴木 均

講師 専修大学教授 大矢根 淳

講師 石巻市社会福祉協議会、石巻災害復興支援協議会、NGOピースボート